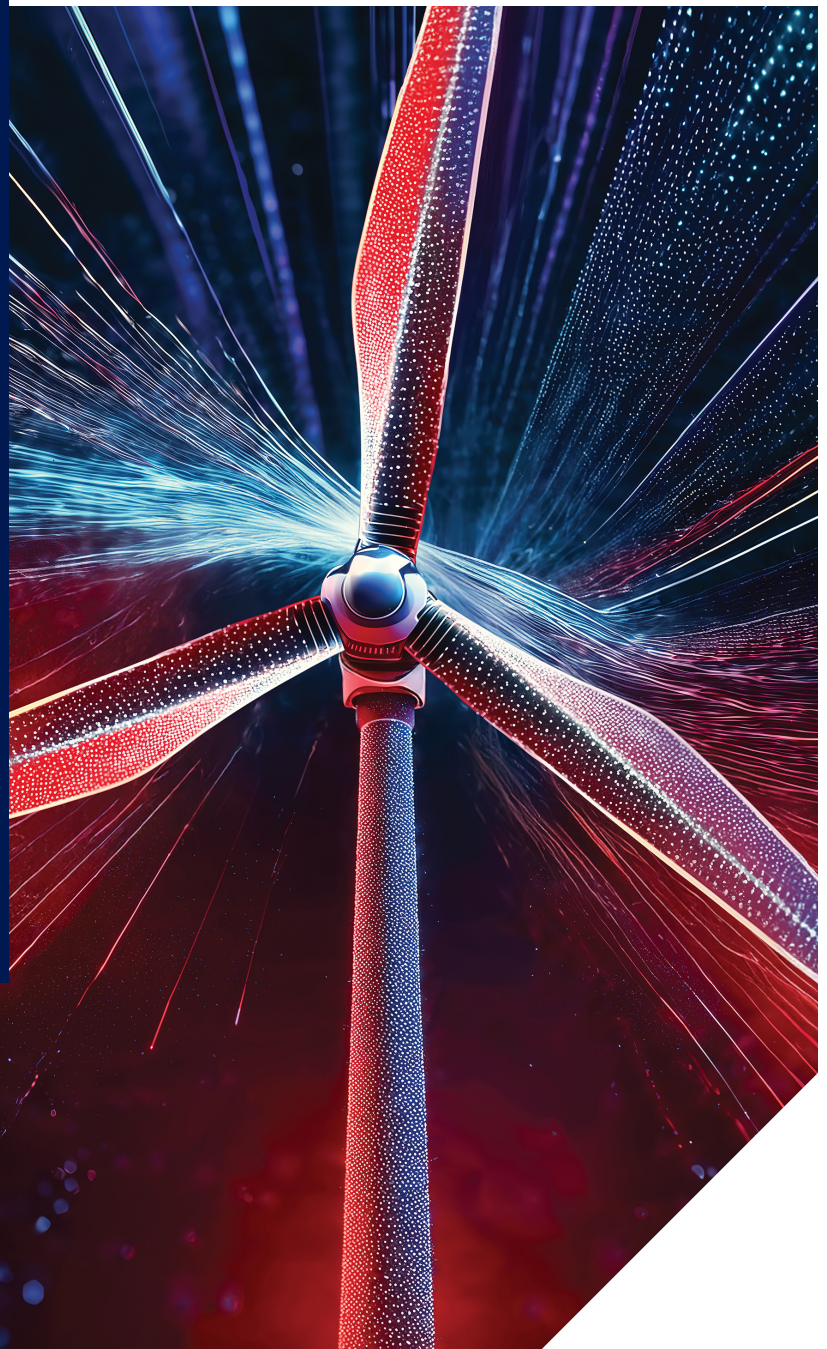


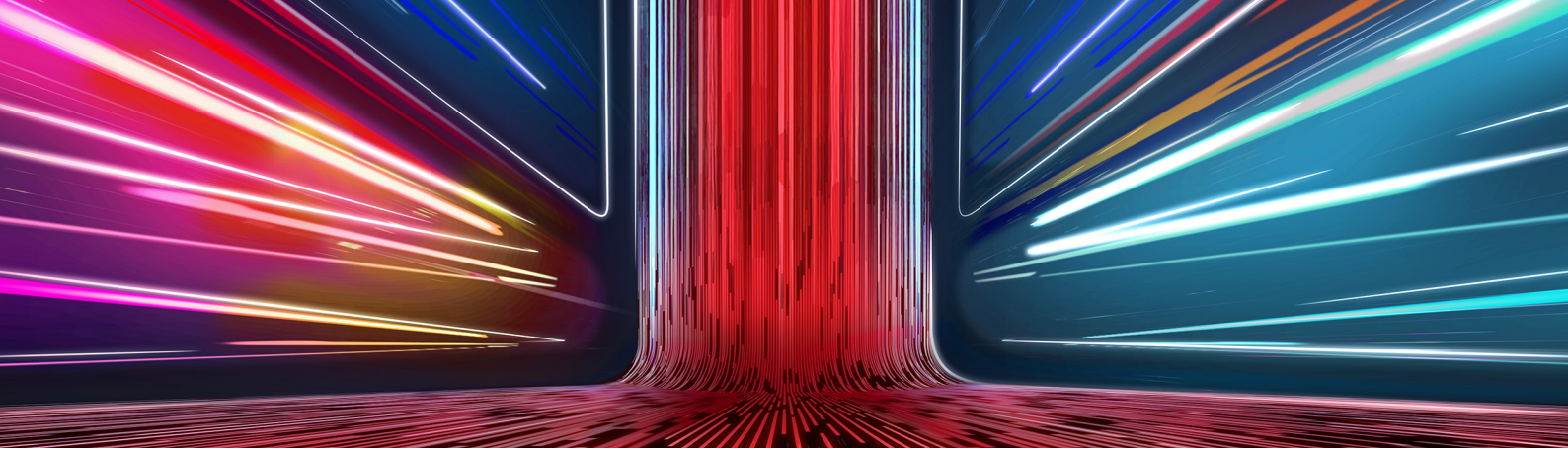
英国の新たな産業戦略がここに

開かれた市場、安定した基盤、世界につながるネットワーク

クリーンエネルギー産業

- + 10億ポンドの「グレート・ブリテイッシュ・エナジー(GBE)」サプライチェーンファンドと、拡充された5億4400万ポンドのクリーン産業ボーナスを活用し、国内のサプライチェーンを強化
- + ナショナル・ウェルス・ファンド(NWF)に総額278億ポンドを拠出し、CO₂回収・利用・貯留、グリーン水素、ギガファクトリー、グリーンスチール、港湾等、英国のクリーンエネルギーおよび成長産業への数百万ポンド規模の民間投資を呼び込み、成長を加速
- + 英国の研究開発投資を促進するため、英国ビジネス銀行が40億ポンドを拠出
- + 今後3年間で、イングランドのエンジニアリングスキル支援に1億ポンドを投資



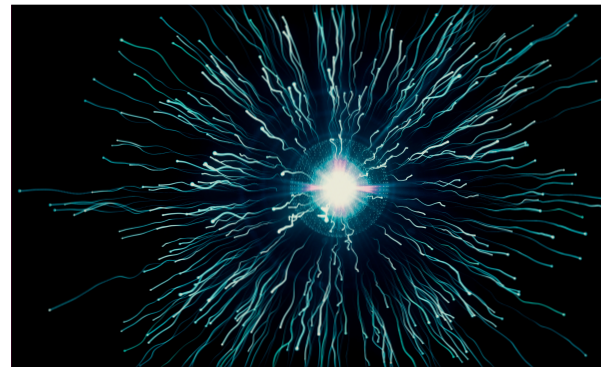


エネルギー移行の 最前線に

英国の新たな産業戦略は英国産業をより迅速かつスムーズに進めるための10ヵ年計画で、より開かれた市場、安定した基盤、世界につながるネットワークを有する経済への投資と拡大を目的としています。この戦略は、インフラの強化、企業のコスト削減、規制の簡素化を通じて、長期的な投資判断に必要な安定性と利便性を提供します。

この大胆な計画に含まれるもの：

- 成長を加速させる公共投資。GBEのサプライチェーンファンドへの10億ポンドの資金供与を発表し、雇用、イノベーション、成長を支援します。
- 革新的な事業を対象に数十億ポンドを拠出。最前線のクリーンエネルギー産業への事業投資を倍増します。
- 必要な熟練労働者を確保。エンジニアリングスキルに投資し、産業戦略セクターにカリキュラムを傾注させます。
- レジリエンスの構築と国際協力の強化。我が国の通商戦略における商機を活用し、グローバル・クリーン・パワー・アライアンスを介して国際的關係を利用、さらにクリーン・グロース・ファイナンスを支援するためUKEF (英国輸出信用保証局) が100億ポンドの資金調達を発表します。



500億ポンドの 民間投資

2024年7月以降発表された
クリーンエネルギーが対象。

1兆ポンドの 市場機会

グローバルなネットゼロ移行
は英国企業にとって大きな
チャンスをもたらします。

6つの フロンティア産業

- » CCUS
(CO2の回収・利用・貯留)
- » ヒートポンプ
- » 水素
- » 核分裂
- » 核融合
- » 風力発電 (陸上と洋上)

そして電力ネットワークは、こ
れらの成長を支える基盤産業
として位置づけられています。

セクタープラン

クリーンエネルギー産業

英国は未来のクリーンエネルギー産業を構築しています。方策には以下が含まれます：

投資の確実性を推進

- フロンティア産業全体の配備・投資に関する支出を大幅に見直す。
- クリーンパワー2030行動計画では、2030年までに年間400億ポンドの公共投資を実施。



障害の解消

- 産業戦略エネルギー支援制度で2027年以降、電気料金を35〜40/MWhポンドに削減します。
- 計画過程を変革し、電力網をより迅速に構築します。
- 新たな接続アクセラレーターサービスで、電力網の接続時間を短縮します。

熟練労働者と質の高い仕事

- サプライチェーン全体で高度な技術を持つ熟練労働者を雇用するため、今年度クリーンエネルギー雇用戦略を立ち上げます。
- Skills Englandでの3年間にわたるエンジニアリングスキル習得に1億ポンド超を投資します。
- 政府のクリーンエネルギー契約に、スキルの提供と仕事の質を向上させる新基準を設けます。
- アバディーン、チェシャー、リンカンシャー、ペンブルックシャーの各州でリージョナル・スキルズ・パイロットを実施します。



レジリエンスと国際協力の構築

- 脆弱性を解消するため、新しいサプライチェーンセンターを設立します。
- クリーンエネルギーへの移行を加速するため、国同士をつなぐグローバル・クリーン・パワー・アライアンスを発足します。



戦略的かつ波及効果の高い公共投資の推進

- GBEの下、10億ポンドのクリーンエネルギー・サプライチェーンファンドを新設。
- NWFに総額278億ポンドを投資。
- 英国ビジネス銀行が合計256億ポンドを投資。このうち40億ポンドは事業拡大と起業へのサポートです。

セクタープラン

クリーンエネルギー産業の具体的なポリシー

洋上風力発電

英国政府、GBE、産業界、クラウン・エステートはサプライチェーンに10億ポンドを投資し、さらに市場の確実性を高めるために差金決済契約 (CfD制度) の改革を進めます。



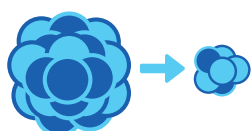
陸上風力発電

国内のインフラ制度に大型プロジェクトを再度導入します。40以上の実行項目を含む初の陸上風力発電戦略を策定し、GBEサプライチェーンファンドから10億ポンドの資金が拠出されます。



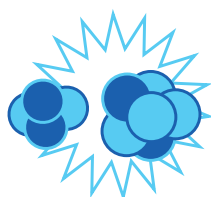
核分裂

サイズウェルC原発への最終的な投資決定は、英国のクリーンエネルギーへの今世紀最大の公共投資です。25億ポンドが投資され、ロールスロイスSMRが史上初の小型モジュール炉として選定されました。



核融合

ノッティンガムシャー州でのSTEPプログラムを含む研究開発に25億ポンドが投資されます。2040年代までにプロトタイプの核融合発電プラントの建設を目標としています。



水素

2026年まで、そして2028年までに収益支援のための割当ラウンドを実施し、さらに新しい水素発電ビジネスモデルを立ち上げ、またCfD制度延長も検討していきます。



CO₂回収・利用・貯留

エイコーン (Acorn) とバイキング (Viking) などのプロジェクトに94億ポンドの資本支援を行い、イーストコーストとハイネットのクラスター能力を最大化します。



ヒートポンプ

132億ポンド規模のウォーム・ホームズ・プランには、製造能力拡大のためのHeat Pump Investment Accelerator Competition (HPIAC) が含まれます。



電力ネットワーク

市場の需要保証メカニズムを探り、サプライチェーンのレジリエンスを高めるためのセクター成長プランを業界と協力して策定します。



英国が クリーンエネルギー 産業に適している理由

英国は企業が自信をもって投資し成長できる、より開かれた市場、安定した基盤、世界につながるネットワークを有する経済圏です。強力な国際貿易は、グローバル市場につながっており、同時に世界トップの調査能力、イノベーション、インフラ、人材が、クリーンエネルギー産業のような成長セクターにおける成功を推進しています。英国は、科学大国としてのポジションを活用して、核融合エネルギー技術のグローバル競争の先頭を走り、クリーンエネルギーの将来に目を向けています。

気候関連投資の中心

クリーンエネルギーは21世紀の経済的な好機となる産業です。英国政府のクリーンエネルギーミッションにより英国では投資が活況を呈し、2024年7月以降のクリーンエネルギーへの民間投資は500億ポンドを超えたことが発表されました。

英国には、クリーンエネルギー産業において成長する大きなチャンスがあります。英国は沿岸国であり、科学・イノベーション両面での超大国であり、高付加価値分野に強みを持っています。

英国固有の強み

英国にはクリーンエネルギー産業に最適な強みがあります。英国政府は、こうした強みを持つ分野をさらに強化します。英国の新たな産業戦略では：

- 沿岸を擁する国として、その長所を生かし、自国製タービンを使用した洋上風力発電で、引き続き世界をリードしていきます。
- 陸上風力の潜在力を最大限に引き出し、成長過程にあるこの技術にかかる禁止を現政府が解除後、その成長の勢いを維持します。
- 先進的な原子力国家としての地位を基に、今後数十年にわたり国を支える核分裂プロジェクトを推進します。

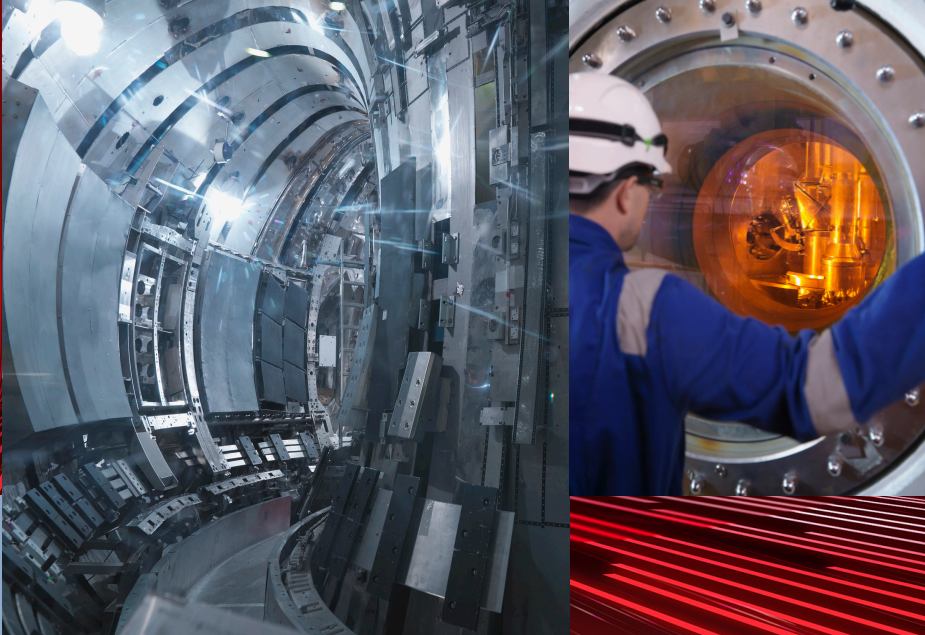
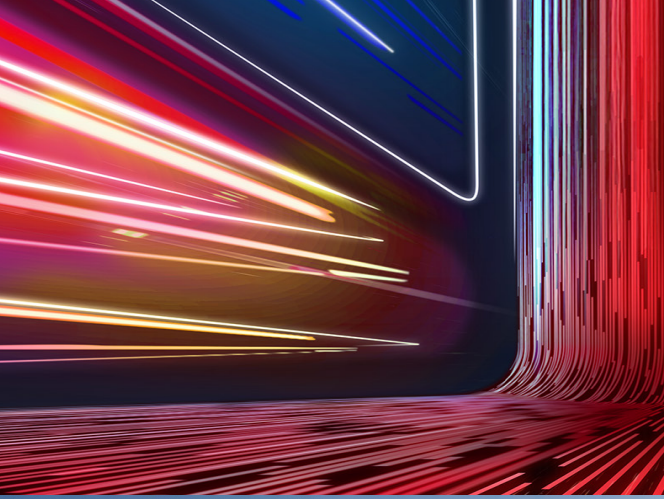


- 産業中心地に新たなCO₂回収・利用・貯留施設および水素施設を開発し、地域を活性化することで、熟練したエネルギー人材を活用します。
- 英国のボイラーメーカーの技術を基盤に、新たなヒートポンプ発電機を使用、製造、設置するため、家庭暖房の専門技術を活用します。
- クリーンエネルギープロジェクトが送電網に接続できるよう、送電網サプライチェーンの早急な成長を促すことで成長基盤を築きます。

触媒的公共投資

同セクターは、英国におけるビジネスの拡大と成長を目的とした触媒的公共投資を通じて、現在の投資レベルを2倍に引き上げることを目指しています。2024年には英国のクリーン技術分野のベンチャーキャピタル投資が23億ポンドに達しました。低炭素製品に対する世界的な需要を背景に、国内の産業クラスターには依然として大きな未開発の潜在力が存在します。洋上・陸上の発電イノベーションをリードする沿岸発電所から核分裂、核融合、CCUS専門知識に至るまで、英国は気候投資のグローバルハブとなっています。米国、EU、インドなどとの最近の国際的な合意により、投資家にとって国際協力はかつてないほど容易になっています。





英国にはクリーンエネルギー産業が成長する大きなチャンスがあります。英国は沿岸国であり、科学のおよびイノベーションの超大国であり、高価値を提供する製造業と、それを可能にする熟練のエネルギー労働力を擁するという強みがあります。

政府のクリーンエネルギー産業計画は、国の経済とエネルギーシステムの両方を確保し、変革させるものです。その計画は、ネットゼロ目標を達成するための技術配備、英国が企業にとって投資、構築、成長するクリーンエネルギー大国になること、そして国内サプライチェーンのレジリエンスを構築することに重点を置いています。

このセクターの計画の野心的目標は、英国のフロンティア産業全体での投資レベルを最低でも倍増させ、2035年までに300億ポンド超にすることです。

投資支援への取り組みは、企業の投資、成長、輸出を可能にするという英国政府の成長ミッションの中核となっています。

詳細はこちら：
business.gov.uk/invest-in-great